

中学校理科採点基準

4枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点
1	(1)	ア	2	全部合っているものだけを正答とする。	8
		イ	1		
		ウ	3		
		エ	1		
		オ	1		
		カ	5		
		キ	1		
		ク	4		
		ケ	1		
		コ	4		
		サ	1		
		シ	5		
	(2)	1、3、4	全部合っているものだけを正答とする。	8	
	(3)	ア	1	全部合っているものだけを正答とする。	4
イ		10			
ウ		5			
エ		2			
オ		8			
					96

中学校理科採点基準

4枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	2	(1)	ア	1	全部合っているものだけを正答とする。	8
			イ	1		
			ウ	1		
			エ	2		
			オ	1		
			カ	1		
			キ	3		
			ク	3		
			ケ	1		
	(2)	2、3、5	全部合っているものだけを正答とする。	8		
	(3)	ア	1	全部合っているものだけを正答とする。	8	
		イ	9			
		ウ	2			
3	(1)	1、3、5	全部合っているものだけを正答とする。	8		
	(2)	6		8		
	(3)	7		8		
4	(1)	2、4、5	全部合っているものだけを正答とする。	8		
	(2)	ア	4	全部合っているものだけを正答とする。	8	
		イ	7			
		ウ	9			
	(3)	ア	5	全部合っているものだけを正答とする。	8	
		イ	7			
ウ		2				

中学校理科採点基準

4枚のうち3

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点		
2		4			10	10	
3	1	2、3、4		全部合っているものだけを正答とする。	10	20	
	2	ア	5	全部合っているものだけを正答とする。	5		
		イ	8		5		
		ウ	7				
エ	6						
4		ア	6	全部合っているものだけを正答とする。	2	10	
		イ	1		2		
		ウ	3		3		
		エ	1				
		オ	7		3		
		カ	5				
5	1	1、3、5		全部合っているものだけを正答とする。	10	20	
	2	(1)	ア	1	全部合っているものだけを正答とする。		5
			イ	4			
			ウ	5			
			エ	7			
			オ	3			
	(2)	a	4	全部合っているものだけを正答とする。	5		
		b	8				

中学校理科採点基準

4枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
6	1 【理科における「見方」】 自然の事物・現象を、質的・量的な関係や時間的・空間的な関係などの科学的な視点で捉えること。(他に、関係的な視点、実体的な視点、共通性・多様性の視点等)	内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。	6
	【理科における「考え方」】 比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて考えること。(他に、条件を制御したり、多面的に考えたりする)	内容を正しく捉えていけば、表現は異なってもよい。	6
	2 ・生徒の意欲を持続させるために、事前に興味・関心を十分喚起し、目的を明確にして取り組ませる。 ・記録の際には、変化の様子が分かるように映像を活用して記録させるなど、観察記録の取り方を工夫させる。 ・実施に際しては、急な天候の変化や夜間の観察などに対する安全上の配慮を十分に行う。	問いを正しく捉えていけば、内容は異なってもよい。	12
7	1 ①保護眼鏡をかける。 ②2本の試験管を用意する。1本には水でうすめた唾液を入れ(この試験管をAとする)、もう1本にはAに入れた水でうすめた唾液と同量の水を入れる(この試験管をBとする)。 ③A、Bに、0.5%デンプン溶液を一定量ずつ入れ、振り混ぜる。 ④ビーカーに40℃の湯を入れ、A、Bを5～10分間温める。 ⑤A、Bの溶液を半分ずつ別の試験管(C、D)に取り分ける。 ⑥A、Bにヨウ素ヨウ化カリウム水溶液(ヨウ素液)を入れて反応を確認する。 ⑦C、Dにベネジクト液と沸騰石を入れて軽く振りながら加熱し、反応を確認する。	問いを正しく捉えていけば、内容は異なってもよい。	10
	2 ・実験を何のために行うか、実験ではどのような結果が予想されるかを考えさせるなど、見通しをもたせる。 ・デンプンから麦芽糖への変化が唾液によって起きたことを確かめるために、水でうすめた唾液と同量の唾液を含まない水を用いて同じ条件で実験を行い、結果を比べることが必要であることに気付かせる。 ・唾液の有無以外の、0.5%デンプン溶液の量、温度、反応時間等の条件をそろえる必要があることに気付かせる。 ・試験管を加熱する際は、沸騰石を入れ、軽く振りながら加熱するなど、安全に留意した計画にさせる。	問いを正しく捉えていけば、内容は異なってもよい。	10